

# 令和6年度 1種審判資格認定試験練習問題

## 【I. 個人・団体総則】

1. 審判パネルについて、正しい構成はどれか？
  - a. Cパネル・Aパネル
  - b. Dパネル・Aパネル・Eパネル
  - c. Dパネル・Eパネル
  
2. 難度審判パネルについて、正しくない説明は次のどれか？
  - a. サブグループ1は2名の審判員が各々にて採点し、共通のDB得点を与える
  - b. 4名の審判員、2つのサブグループに分かれる
  - c. サブグループ2は2名の審判員が各々にて採点し、2名の点数を合計してDA得点を与える
  
3. 芸術審判パネル(A)は、何名の審判で構成されているか？
  - a. 2名(A1、A2)
  - b. 3名(A1、A2、A3)
  - c. 4名(A1、A2、A3、A4)
  
4. Dパネルの第1サブグループ(DB)の任務について、正しくない説明は次のどれか？
  - a. 身体難度(DB)の数と技術的価値の評価をする
  - b. Wの有無を評価する
  - c. 必須の基礎手具技術要素の有無を評価する
  
5. Dパネルの第2サブグループ(DA)の任務について、正しくない説明は次のどれか？
  - a. 回転を伴うダイナミック要素(R)の数と技術的価値の評価をする
  - b. 必須の基礎手具技術要素の有無を評価する
  - c. 手具難度(DA)の数と技術的価値の評価をする
  
6. Aパネルの任務について、正しくない説明は次のどれか？
  - a. 4名の審判員は芸術的欠点を減点にて評価する
  - b. 2名の審判員は芸術的欠点を減点にて評価し、共通のA減点を与える
  - c. 芸術減点の合計が10.00点から差し引かれ、最終のA得点となる
  
7. Eパネルの任務について、正しくない説明は次のどれか？
  - a. 4名の審判員は各々にて他の審判員と相談せず減点合計を決定する
  - b. 4名の審判員は他の審判員と相談し、減点合計を決定する
  - c. 実施減点の合計が10.00点から差し引かれ、最終のE得点となる

8. 計時の業務について、正しい説明は次のどれか？
- 全ての演技に関する計時（演技の開始、選手の演技中）は、1秒単位で行われる
  - ストップウォッチは音楽の始まりに押され、選手の動きが完全に終わった時点で止められる
  - 身体と／または手具の動きなしでの4秒を超えない短いイントロダクションは許容されない
9. 次の計時の減点は何点か？
- ・個人選手の演技が完全に終わった時にストップウォッチを押したが、1分33秒だった
- 0.10点
  - 0.20点
  - 0.15点
10. 次の計時の減点は何点か？
- ・個人選手の演技が完全に終わった時にストップウォッチを押したが、1分13秒だった
- 0.05点
  - 0.10点
  - 0.20点
11. 次の計時の減点は何点か？
- ・団体選手の演技が完全に終わった時にストップウォッチを押したが、2分30秒72だった
- 0.00点
  - 0.05点
  - 0.30点
12. 次の計時の減点は何点か？
- ・団体の演技において、4名の選手は2分30秒で動きを終え、残り1名の選手の最後の動きが完全に終わったのは2分31秒だった
- 0.00点
  - 0.05点
  - 0.10点
13. 線審について、正しくない説明は次のどれか？
- 身体や手具が規定のラインを超えて、床に触れた場合に減点する
  - 線審が対角線上の角に着席した場合、2つのラインと左手側に位置する角に責任を持つ
  - 選手が演技中、演技面を変更または離脱した場合に旗を揚げる
14. 次の線審の減点は何点か？
- ・同じライン外で同時に2本のクラブを喪失した
- 0.10点
  - 0.30点
  - 0.60点

15. 次の線審の減点は何点か？

・手具が演技終了後と音楽終了後に演技面から出た

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

16. 次の線審の減点は何点か？

・手具が演技中に天井の梁に引っ掛かる

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

17. 次の線審の減点は何点か？

・破損した手具を演技面外へ出す

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

18. 次の線審の減点は何点か？

・2つの異なるライン外で同時に2個の手具を喪失した

- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 0.90 点

19. 次の線審の減点は何点か？

・個人選手が演技面外で演技を終了することに対して

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

20. 次の線審の減点は何点か？

・団体演技中に2個またはそれ以上の連結（ジョイント）された手具を演技面外に同時に喪失した

- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 0.90 点

21. 個人選手は1回の演技で何個の予備手具を使用できるか？

- a. 2 個
- b. 3 個
- c. 1 個

22. 許可されているレオタードは？
- チュチュのようなスカート
  - レオタードと分かれた靴下
  - 細いストラップのレオタード
23. 許可されていない服装は？
- 裸足にて演技を実施
  - 装飾的なアップリケがついたレオタード
  - 発光ダイオード（LED）で装飾されたレオタード
24. 団体選手のレオタードが服装の規定に反している場合の減点は？
- レスポンシブルジャッジから、選手の人数分 0.30 点の減点
  - 線審から 0.30 点の減点
  - レスポンシブルジャッジから、団体に 1 度 0.30 点の減点
25. 「配置されていない手具の使用」の減点はどの審判から減点されるか？
- レスポンシブルジャッジ
  - 線審
  - コーディネータージャッジ
26. 演技中に自分の手具が破損した場合について、正しい対応の説明は次のどれか？
- 演技をやり直す
  - 破損した手具で演技を続ける
  - 破損した手具を演技面外へ出し、予備手具を使用して演技を続ける
27. 選手が手具を破損し、演技を途中で中止した場合について、正しい説明は次のどれか？
- 難度、芸術、実施、全て 0.00 点
  - すでに有効な方法で実施されている難度は評価し、芸術は 0.00 点、実施は演技終了時に手具を喪失した減点をいれ、演技中に適用される全ての減点を差し引く
  - すでに有効な方法で実施されている難度は評価し、芸術と実施は 0.00 点を与える
28. 次のレスポンシブルジャッジの減点は何点か？
- 演技中に手具が使用不可能な手具と判断し、演技面外へ手具を出し予備手具を使用する
- 0.00 点
  - 0.30 点
  - 0.50 点
29. 次のレスポンシブルジャッジの減点は何点か？
- 選手が演技中に予備手具を使用した後、再び自分の手具を使用
- 0.00 点
  - 0.30 点
  - 0.50 点

30. 次のレスポンシブルジャッジの減点は何点か？
- ・個人演技中に手具を喪失したが演技面外へ出なかった  
選手は喪失した手具をそのままにし、予備手具を使い最後まで演技した
- 0.30 点
  - 0.50 点
  - 0.80 点
31. 次のレスポンシブルジャッジの減点は何点か？
- ・演技開始前にリボンが使用不可能な手具と判断し予備手具を使用するが、競技会を遅延させなかった
- 0.00 点
  - 0.30 点
  - 0.50 点
32. 次のレスポンシブルジャッジの減点は何点か？
- ・演技開始前に競技会を遅延させ、リボンの結び目を解く
- 0.00 点
  - 0.30 点
  - 0.50 点
33. 次のレスポンシブルジャッジの減点は何点か？
- ・肌の色ではない包帯やサポーターを着用し演技を実施
- 0.00 点
  - 0.30 点
  - 0.50 点
34. 次のレスポンシブルジャッジの減点は何点か？
- ・選手のメイクが美しく明るいものではなく、舞台メイクのようなものであった
- 0.00 点
  - 0.30 点
  - 0.50 点
35. 次のレスポンシブルジャッジの減点は何点か？
- ・団体選手が演技中に1名離脱し、補欠と交代した
- 0.10 点
  - 0.30 点
  - 0.50 点

36. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ 手具を演技面外へ喪失、コーチまたはその他の人から選手に戻された

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

37. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ 選手の入場が早い（コールの前）または入場が遅い（運営側のミスではなく）

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

38. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ 団体演技中に選手同士が互いに声を掛け合った

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

39. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ 競技会場でウォーミングアップを行う

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

40. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ コーチが、選手または審判員と連絡をとる

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

## 【II. 個人 D】

- 4 1. シニア個人の難度構成について、正しい説明は次のどれか？
- 身体難度 (DB) は実施順に最高 9 個をカウント
  - 回転を伴うダイナミック要素 (R) は実施順に最高 5 個
  - 手具難度 (DA) は最低 1 個、実施順に最高 18 個
- 4 2. ジュニア個人の難度構成について、正しい説明は次のどれか？
- 手具難度 (DA) は最低 1 個、実施順に最高 16 個をカウント
  - 回転を伴うダイナミック要素 (R) は実施順に最高 5 個
  - 身体難度 (DB) は最も高いものから最高 7 個をカウント
- 4 3. DB について、正しい説明は次のどれか？
- DB が繰り返された場合、難度は無効で 0.30 点減点
  - シニアの演技中、コンバイン難度の回数は制限がない
  - 1 つまたはそれ以上の身体部位が  $20^\circ$  を超える大きな誤差を伴った場合、DB は無効
- 4 4. ジュニア個人の DB について、次の場合 DB 審判からの減点は何点か？
- ・ボールの演技において、利き手でない手を使用した手具操作を伴う DB が 2 個より少ない
- 各不足に対して 0.10 減点
  - 各不足に対して 0.30 減点
  - 一括で 0.30 減点
- 4 5. コンバイン身体難度について、正しい説明は次のどれか？
- 3 つの身体難度を組み合わせて、1 つのコンバイン身体難度にすることができる
  - コンバイン身体難度は 1 つの DB としてカウントされる
  - 組み合わせられた DB の最後の DB がどの身体グループに属するかを決定する
- 4 6. コンバイン身体難度について、正しい説明は次のどれか？
- コンバイン難度でを使用した DB は、単独の DB で使用することができる
  - 両足での踏み切りまたは着地を伴った全てのジャンプを使用することができる
  - “スローターン”を伴うバランスはコンバイン難度の一部として使用することができない
- 4 7. 全身の波動 (W) について、正しい説明は次のどれか？
- シニアでは演技中、2 つが必須である
  - ジュニアでは演技中、1 つが必須である
  - 演技に波動が入っていない場合、波動の各不足に対し 0.50 点減点
- 4 8. 全身の波動 (W) について、正しい説明は次のどれか？
- DB の波動の変形である波動は、基礎または基礎でない手具操作が必須である
  - DB の波動の変形である波動は、繰り返すことができる
  - 身体の 1 部位を使用した腕のみの波動も、実施減点を伴い W の 1 つとして数える

49. 高い投げまたは“ブーメラン”の下での単独の DB について、正しい説明は次のどれか？
- 低い投げの下での単独の DB は有効
  - 手具の投げの下での DB の後に手具を喪失した場合、DB は有効
  - コンバイン難度は、手具の“投げの下”で実施することはできない
50. 基礎と基礎でない手具技術グループについて、正しくない説明は次のどれか？
- 基礎手具技術要素は、DB - 身体難度、DA - 手具難度、または難度間のつなぎ要素とダンスステップコンビネーションにて実施することができる
  - 2つの動作（全てのフォームでの放しと受け）を含む手具技術要素は2つの身体難度を有効とすることができる
  - 特有の基礎手具技術要素を DB で実施する場合、それらは異なること
51. フープの演技で特有の基礎と基礎手具技術グループのうち、必須条件が演技中2つである手具操作は  ともう1つは何か？
- 
  - 
  - 
52. ボールの演技で特有の基礎と基礎手具技術グループのうち、必須条件が演技中2つである手具操作は  ともう1つは何か？
- 
  - 
  - 
53. クラブの演技で特有の基礎と基礎手具技術グループのうち、必須条件が演技中2つである手具操作は  ともう1つは何か？
- 
  - 
  - 

54. リボンの演技で特有の基礎と基礎手具技術グループのうち、必須条件が演技中 2 つである手具操作は

 と/または  ともう 1 つは何か？

- a. 
- b. 
- c. 

55. R について、正しい説明は次のどれか？

- a. 垂直軸での回転の各グループは R で 2 回まで使用することができる
- b. 別の R で (異なるバリエーションに関わらず) プレアクロバット要素のグループが繰り返された場合 (単独またはシリーズで) R は無効
- c. DA で 1 度使用した同じグループのプレアクロバット要素を R で使用することはできない

56. R について、正しい説明は次のどれか？

- a. 最初の回転の前または最初の回転中に、手具を高く投げる
- b. 低い投げは無効、中くらいの投げは有効
- c. 空中下で最低 1 回の身体回転のダイナミック要素があること、2 回転目の最中に受けることもできる

57. 次の R の価値は何点か？

- ・投げ、手具の空中下でシェネを 2 回転、前転をしながら回転中に手以外視野外での受け

R3 ~~≠~~ ~~⊗~~ ~~✕~~

- a. 0.40 点
- b. 0.60 点
- c. 0.70 点

58. 次の R の価値は何点か？

- ・手以外での投げ、手具の空中下でシェネを 3 回転、視野外での受け

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 0.70 点

59. 次の R のみの価値は何点か？

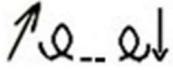
- ・同じ形の回転リープ (回転を伴う DB) で高い投げ、空中下で回転リープ、3 番目の回転リープで受け

- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 0.70 点

60. Rが無効になる実施方法は、次のどれか？

- a. 基本回転後に移動を伴い受ける
- b. リボンの布を受ける
- c. 回転を伴うDBで投げる

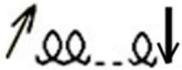
61. 次のように実施されたRについて、正しい説明は次のどれか？



高い投げ、1回転目、追加のステップ、2回転目、受け

- a. 有効
- b. 無効
- c. 実施減点を伴い有効

62. 次のように実施されたRについて、正しい説明は次のどれか？



高い投げ、中断のない2回の基本回転に続いて2歩の移動と3回目の回転、受け

- a. 実施減点を伴いR2として有効
- b. 無効
- c. 実施減点を伴いR3として有効

63. 次のDAの価値は何点か？



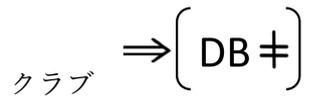
- a. 0.20点
- b. 0.30点
- c. 0.40点

64. 次のDAの価値は何点か？



- a. 0.20点
- b. 0.30点
- c. 0.40点

65. 次の DA の価値は何点か？



- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

66. 次の DA の価値は何点か？

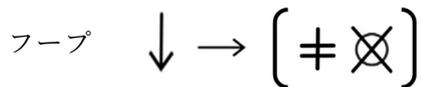


- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

67. DA について、正しい説明は次のどれか？

- a. 垂直回転グループを使用する場合、制限はない
- b. プレアクロバット要素の同じグループは 2 度まで使用することができる
- c. プレアクロバット要素の異なるグループから最高 4 個のプレアクロバット要素を基準の“回転”として実施することができる。

68. 次の DA の価値は何点か？



- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

69. 次の DA の価値は何点か？



- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

70. 身体の一部（手以外）の周りでのフープの回し（最低1回）のDAにおいて、利用不可能な基準は次のどれか？

- a. 
- b. 
- c. 

71. 最低2つの異なる身体の部位にて、手の補助なしでのリボンの持ち替えるDAにおいて、利用不可能な基準は次のどれか？

- a. 
- b. 
- c. 

72. バランス難度について、正しい説明は次のどれか？

- a. 同じ演技の中で、つま先立ち（ルルベ）と踵をついてバランスの同じ形を実施することができる
- b. 支持脚が伸びていても曲がっていても、バランス難度の価値は変わらない
- c. “スローターン”を伴う、または伴わない同じ形のバランスは繰り返すことができる

73. 次のDBの価値は何点か？



- a. ①0.20点②0.50点
- b. ①0.10点②0.40点
- c. ①0.10点②0.50点

74. 次のDBの価値は何点か？



- a. ①0.10点②0.30点
- b. ①0.10点②0.20点
- c. ①0.20点②0.20点

75. 次のDBの360°の価値は何点か？



- a. ①0.40点②0.10点
- b. ①0.50点②0.20点
- c. ①0.50点②0.10点

76. 次のDBの価値は何点か？

①  1 (360°) ②  11 (360° + 360°)

- a. ①0.30点②0.40点
- b. ①0.20点②0.40点
- c. ①0.30点②0.20点

77. 次のDBの価値は何点か？



- a. 2BDとして0.60
- b. 2BDとして0.50
- c. 1BDとして0.50

78. 鹿リープについて、正しい説明は次のどれか？



- a. 鹿の位置は水平で180°位置を維持しても、脚が水平位置より上または下にある場合では認められない
- b. 片足または両足の踏み切りでの鹿リープは同じ身体難度とみなされる
- c. 片足と両足の踏み切りでの鹿リープは別の難度である

79. 支持を伴う後方開脚バランスについて、正しい説明は次のどれか？



- a. 開脚は要求されない
- b. 頭と脚の接触が必須
- c. 接触は要求されていない

80. パンシェローテーションについて、正しい説明は次のどれか？



- a. 基本回転は180°
- b. 胴は水平へまたはそれより下に前屈する
- c. ルルベで実施

### 【Ⅲ. 個人 A/E】

- 8 1. 芸術における音楽について、正しい説明は次のどれか？
- 音楽の特徴は、選手の年齢、技術レベル、芸術の質を尊重する必要はない
  - 選手が動き始めの前、最大 5 秒までの音楽のイントロダクションは認められる：音楽のイントロダクションが 5 秒を超えた場合、減点される
  - 一般的でない音楽的特徴を持つ音は禁止されている（例：サイレン、車のエンジン音、など。）
- 8 2. 芸術において“動きの特徴”について、正しい説明は次のどれか？
- 動きは音楽の特徴を選手自身の解釈で明確に強調するものである
  - 選手の動きのスピードと強度、及び手具の動きは、音楽のダイナミズムとテンポの変化に反映されるべきである
  - つながりは 2 つの動きまたは難度間を“接続させること”である
- 8 3. 芸術において“動きの特徴”の減点について、正しくない説明は次のどれか？
- ダンスステップのみである場合、1.00 点減点
  - 演技のいくつかの部分である場合、0.30 点減点
  - 動きのスタイルまたは特徴が演技の始めから終わりまで完全に展開された場合、減点はない
- 8 4. ダンスステップコンビネーションについて、正しくない説明は次のどれか？
- ダンスの開始動作から 8 秒間全てにおいてステップがはっきりと見えること
  - ダンスのアイデアや多様性を豊かにする大きな投げは実施可能である
  - “ガブリオール” ジャンプや “パッセ” バランスのような 0.10 点の価値の DB を含めることができる
- 8 5. ダンスステップコンビネーションが無効になってしまう条件で、正しくない説明は次のどれか？
- S 中に手具の基礎技術が実施されていない
  - S 中にプレアクロバット要素を実施
  - コンビネーション全体を床上にて実施
- 8 6. 個人演技、身体と手具の効果について、正しい説明は次のどれか？
- 視覚的效果を生み出す音楽の特有なアクセント／フレーズと組み合わせられた特有な身体と／または手具要素（複数）がない場合、0.50 点の減点である
  - 音楽を伴う 1 つの身体と／または手具の効果がない構成は減点である
  - 音楽を伴う 2 つの身体と／または手具の効果がない構成は減点である
- 8 7. 個人演技、つながりについて、正しくない説明は次のどれか？
- 動きと動きを接続させることは、構成の特徴を強化させることになる
  - 関連のない要素のシリーズとして構築された構成は減点される
  - 非論理的なつながりはそのつど 0.10 点、最大 1.00 点までの減点となる

88. 次の A (芸術審判) の減点は何点か？

・演技中、ダンスステップコンビネーションと評価できるものが1つしかなかった

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 1.00 点

89. 次の A (芸術審判) の減点は何点か？

・個人演技中、ダイナミックな変化が2つより少なかった

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 1.00 点

90. 次の A (芸術審判) の減点は何点か？

・個人演技中、同じ高い投げが4個あった

- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

91. 次の A (芸術審判) の統一性の減点は何点か？

・演技中、重大な技術の中断により構成の統一性／調和／連続性が2度壊れる

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

92. 次の A (芸術審判) の減点は何点か？

・演技中、フロア面全体の使用が不十分であった

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 減点なし

93. 個人演技において、A (芸術審判) で身体表現の正しい減点は次のどれか？

- a. 強度または特徴の適応のない固定された表情、と／または 動きの身体部位の部分的な使用 0.50 点の減点
- b. 顔の表情がない、と／または身体部位の使用が不十分 0.30 点の減点
- c. 顔の表情がない、と／または身体部位の使用が不十分 0.50 点の減点

94. 正しい減点は次のどれか？

・演技終末にボールが落下し、移動せずすぐに取り戻したが演技終了時に音楽と動きのハーモニーが合わなかった

- a. E (実施審判) で 0.50 点の減点、A (芸術審判) で 1.00 点の減点
- b. E (実施審判) で 1.00 点の減点、A (芸術審判) で 0.50 点の減点
- c. E (実施審判) で 0.50 点の減点、A (芸術審判) で 0.50 点の減点

9 5. 正しい減点は次のどれか？

- ・個人演技中、12 回音楽のアクセント・フレーズ・テンポに合わせておらず、非論理的なつながりが 11 回あった
- a. 2.00 点
- b. 2.20 点
- c. 2.30 点

9 6. 正しい減点は次のどれか？

- ・規則に従わない音楽
- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 1.00 点

9 7. 正しい減点は次のどれか？

- ・4 秒を超える音楽のイントロダクション
- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 1.00 点

9 8. 実施審判パネルの評価について、正しくない説明は次のどれか？

- a. 実施欠点は欠点がある各要素に対し毎回減点すること
- b. フロア全体の使用が不十分である場合、減点される
- c. 選手自身の演技が安全にかつ最も美しく熟練した技術要素のみが含まれていることが要求される。  
この要求から逸れている場合は減点される

9 9. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・全身波動が不完全な動きだった
- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

1 0 0. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・プレアクロバットの形の不完全な動きまたは大きさに欠ける
- a. 0.30 点
- b. 0.20 点
- c. 0.10 点

1 0 1. 次の E（実施審判）の減点は合計何点か？

- ・1 つの動作中に膝が曲がり、さらに肩が上がっていた
- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

1 0 2. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・ バランスを失い片手で支えたのち、転倒した

- a. 0.50 点
- b. 0.70 点
- c. 1.20 点

1 0 3. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・ 鹿リープ  において着地が重い

- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

1 0 4. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・ 支持を伴わない後方開脚バランス  にて開脚に  $19^\circ$  の誤差があり、胴が非対称な位置にあった

- a. 0.20 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 0 5. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・ 支持を伴わない側方開脚バランスにて、上の脚に中くらいの誤差、胴体に中くらいの誤差があった



- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

1 0 6. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・ ロテーション難度中にボールを掌と前腕で保持、回転終了時に身体の軸が垂直でなく 1 歩余分なステップが入った

- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 0 7. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・ 不注意による身体との接触を伴った不正確な受け

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 0 8. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・フープの演技中、回しの最中に上腕にずれた

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 0 9. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・フープの演技中、不正確な操作が 3 回あり、投げの後の受けで上腕に接触した

- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 1 0. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・ボールの演技中、不注意によって身体での不完全な転がし

- a. 0.00 点
- b. 0.10 点
- c. 0.30 点

1 1 1. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・ボールの演技中、不正確な操作（前腕でボールを保持する・握る）が 5 回、1 つの転がし実施中に不正確に 2 回バウンドした

- a. 0.50 点
- b. 0.60 点
- c. 0.70 点

1 1 2. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・クラブの演技中、2 本のクラブの投げと受けの最中にクラブの回転の同時性が乱れた

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 3. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

・リボンの演技中に、操作に最小限の影響を伴う小さな結び目ができた

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 4. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・リボンの演技中に、中断なしで、不注意により身体または身体の一部またはスティックの周りにリボンが巻きついた

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 5. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・リボンの演技中、エシャッペの実施中に不注意によりリボンの一部が 1m を超えて床に残った

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 6. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・クラブの不正確な投げ、不正確な軌道により手具の喪失を防ぐために 1 歩移動して空中で受けた

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 7. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・リボンの不正確な投げ、不正確な軌道により手具の喪失を防ぐためにシャッセで移動をして空中で受けた

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 8. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・フープがフロア外に落下、2 歩の移動で取り戻した

- a. 0.50 点
- b. 0.70 点
- c. 1.00 点

1 1 9. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・手具を喪失して 1-2 歩の移動の後に取り戻す

- a. 0.50 点
- b. 0.70 点
- c. 1.00 点

120. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

・2本のクラブを連続して喪失し、1本目のクラブは移動せずに取り戻し、もう1本のクラブは3歩の移動の後に取り戻した

- a. 0.50 点
- b. 1.00 点
- c. 1.50 点

#### 【IV. 団体 D】

- 1 2 1. シニア団体の難度構成について、正しい説明は次のどれか？
- a. 交換を伴う難度 (DE) は最低 3 個必要
  - b. 手具難度 (DA) 連係を伴う難度は最低 9 個、実施順に最高 18 個
  - c. 身体難度 (DB) は実施順に最高 9 個をカウント
- 1 2 2. ジュニア団体の難度構成について、正しくない説明は次のどれか？
- a. 演技中コンバイン身体難度を実施することができない
  - b. 手具難度 (DA) 連係を伴う難度は最低 5 個、実施順に最高 15 個
  - c. DB と DE は実施順に最高 8 個をカウント
- 1 2 3. 団体演技で可能な DB の実施方法について、正しくない説明は次のどれか？
- a. R にて
  - b. DE にて
  - c. DC にて
- 1 2 4. 団体演技に全身の波動が 1 つしか入っていない場合、波動の不足に対して正しい減点は何点か？
- a. 第 1 サブグループ審判 (DB) 審判より 0.30 減点
  - b. 第 2 サブグループ審判 (DB) 審判より 0.50 減点
  - c. 減点なし
- 1 2 5. フープ 5 個の団体演技で特有の基礎と基礎手具技術グループのうち、必須条件が演技中 2 つずつである手操作は  $\ominus$  ともう 1 つは何か？
- a.  $\bigcirc$
  - b.  $\infty$
  - c.  $\ominus$
- 1 2 6. ボール 3 個×クラブ 2 個の団体演技で特有の基礎と基礎手具技術グループのうち、必須条件が演技中 2 つずつである手具操作の組み合わせはどれか？
- a.  $\infty \downarrow \Rightarrow \bigcirc$
  - b.  $\infty 8 \Rightarrow \times$
  - c.  $8 \downarrow \Rightarrow +$

1 2 7. 正しい説明は次のどれか？

- a. 団体競技には R を入れなくてよい
- b. 団体競技にはジャンプが入っていないとよい
- c. 団体競技ではダンスステップコンビネーションを 1 個入れればよい

1 2 8. 正しい説明は次のどれか？

- ・ジュニア団体競技で、3 つの DB(身体難度)が入っていた。5 名同時にジャンプ難度、5 名同時にバランス難度、3 つ目は 5 名がサブグループでローテーション難度を実施した
- a. ローテーション難度を 5 名が実施しているため減点なし
- b. 5 名同時にローテーション難度を実施していないため第 1 サブグループ審判員から 0.30 点減点
- c. 5 名同時にローテーション難度を実施していないため第 2 サブグループ審判員から 0.30 点減点

1 2 9. 正しい説明は次のどれか？

- ・5 名の選手が R (回転を伴うダイナミック要素) を同時に異なる方向で実施した
- a. 5 名が同じ方向に実施していないためノーカウントで価値 0.00 点
- b. 5 名が同時に実施しているため異なる方向でも、得点を与える
- c. 得点は与えるが、第 2 サブグループ (DA) 審判員から 0.30 点減点

1 3 0. 次の交換の価値は何点か？

- ・5 名全員で視野外での投げ、8 メートルの距離と身長 2 人分の高さを伴う交換
- a. 0.40 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

1 3 1. 次の交換の価値は何点か？

- ・フープ 5 個の団体演技で 5 名の選手で軸回転を伴った投げ、8 メートルの距離を伴う交換、回転をしながら手で受ける
- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

1 3 2. 次の交換の価値は何点か？

- ・4 名の選手が高さはないが 8 メートルの距離を伴う交換、1 名の選手が高さはないが 6 メートルの距離を伴う交換、投げ・受けともに追加の基準はない
- a. 0.40 点
- b. 0.20 点
- c. 0.00 点

1 3 3. 次の交換の価値は何点か？

- ・ボール 5 個の団体演技で 2 名の選手が座位と視野外で投げ、3 名の選手は手以外で投げた。5 名の選手が 8 メートルの距離を伴い、手以外で手具を受けた

- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

1 3 4. 次の交換の価値は何点か？

- ・ボール 3 個×リボン 2 本の団体演技で、大きな投げ（高さ 8 メートルの距離を伴う）で交換ボールの 3 名が、前方転回をしながら視野外で投げた  
リボンの 2 名が、手以外・視野外で投げた

- a. 0.40 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

1 3 5. 次の交換のみの価値は何点か？

- ・5 名全員で鹿ジャンプを伴い投げ、身長 2 人分の高さを伴う交換

- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

1 3 6. 次の DB の価値は何点か？

- ・2 名の選手がパンシェターン 2 回転、3 名の選手がアチチュードバランス（ルルベ）を実施

- a. 0.30 点
- b. 0.20 点
- c. 0.50 点

1 3 7. 次の DB の価値は何点か？

- ・3 名の選手が水平の伸脚を伴ってのフェットローテーションを 5 回転  
2 名の選手は後屈を伴った伸脚での切り替え回転鹿リープ

3 名  11111

2 名 

- a. 0.60 点
- b. 0.70 点
- c. 1.00 点

1 3 8. 次の DB の価値は何点か？

- ・ 4 名の選手が踵の支持なしパンシェバランス
- 1 名の選手は踵の支持ありパンシェバランス



- a. 0.40 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

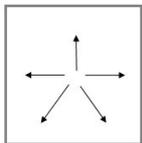
1 3 9. 次の DB の価値は何点か？

- ・ 3 名の選手が開脚リープ
- 1 名の選手が踵の支持ありパンシェバランス
- 1 名の選手がパンシェローテーション 360°



- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.00 点

1 4 0. 次のように実施された R について、正しい説明は次のどれか？



・ 5 名が異なる方向へ移動した

- a. カウントできる
- b. カウントはできるが、DB 審判より減点が入る
- c. カウントできない

1 4 1. 次の R の価値は何点か？

- ・ 5 名の選手が素早い連続で同じ方向に向かって  
投げ、手具の空中下でシェネを 2 回転、手以外視野外での受け

- a. 0.00 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 4 2. 次の R の価値は何点か？

- ・ 3 名の選手が、空中下でシェネ 1 回転と前転 1 回転
- 2 名の選手が、空中下でシェネ 1 回転と側転 1 回転

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.20 点

1 4 3. 次の R の価値は何点か？

- ・ボール 5 個の団体演技で 3 名が、手具の空中下でシェネを 3 回転、手以外視野外での受け  
2 名が、手具の下でシェネを 3 回転、前面で片手受け

3 名 ~~R3~~ 2 名 R3 ↓

- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

1 4 4. 次の R の価値は何点か？

- ・フープ 3 個×クラブ 2 個の団体演技で  
フープの 3 名が、視野外投げ、手具の空中下でシェネを 2 回転と前転を 1 回転  
クラブの 2 名が、手以外投げ、手具の空中下でシェネを 2 回転と前転を 1 回転

3 名 ~~R3~~ 2 名 ~~R3~~

- a. 0.00 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

1 4 5. 次の連係の価値は何点か？

CC

- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

1 4 6. 次の連係の価値は何点か？

CR2 ~~+~~ ~~R~~

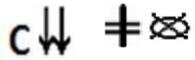
- a. 0.40 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

1 4 7. 次の連係の価値は何点か？

C ~~+~~ ~~R~~ CR

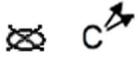
- a. 0.50 点
- b. 0.60 点
- c. 0.70 点

1 4 8. 次の連係の価値は何点か？



- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

1 4 9. 選手が 2 個の手具を同じ方向に視野外で投げた、正しい価値は次のどれか？



- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

1 5 0. 2 個の手具を投げた選手が、自分で投げた複数投げのうちの 1 個を受けた、正しい価値は次のどれか？



- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

1 5 1. 次の連係の価値は何点か？



- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 5 2. 次の連係の価値は何点か？



- a. 0.40 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

1 5 3. 次の連係の価値は何点か？



- a. 0.50 点
- b. 0.60 点
- c. 0.70 点

154. 次の連系の価値は何点か？

## CL

- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

155. 正しくない組み合わせは次のどれか？

・団体演技において、シニアでは3回コンバイン連係が可能（ジュニアは2回）

- a. CL+CR
- b.  +CR
- c.  +CR

156. CRについて、正しい説明は次のどれか？

- a. 垂直回転グループの同じグループは1度までしか使用することができない
- b. プレアクロバット要素の同じグループは2度まで使用することができる
- c. 垂直回転グループを使用する場合、制限はない

157. 正しいものは次のどれか？

・連係が無効になる場合

- a. 手具の衝突
- b. 3歩以上移動して受ける
- c. サブグループでの実施

158. 連系の禁止要素でないものは次のどれか？

- a. ピラミッドを形成
- b. 選手を持ち上げる
- c. 床上で側方または前方開脚、その位置で停止

159. リボン5本の団体演技中、らせんを1つ実施、蛇形を全く実施しなかった場合、特有の基礎手具要素の減点は何点か？

- a. 第2サブグループ審判（DA）審判より0.90減点
- b. 第2サブグループ審判（DA）審判より0.60減点
- c. 第2サブグループ審判（DA）審判より0.30減点

160. ジュニア団体演技の中に、CCが1つも入っていなかった場合の減点は何点か？

- a. 減点なし
- b. 第2サブグループ審判（DA）審判より0.60減点
- c. 第2サブグループ審判（DA）審判より0.30減点

## 【V. 団体 A/E】

- 1 6 1. 芸術において“動きの特徴”について、正しくない説明は次のどれか？
- 動きは音楽の特徴を団体の解釈で明確に強調するものである
  - ダンスステップは動きに明確な特徴があること
  - 音楽の特徴の変化は、動きの特徴の変化に反映する
- 1 6 2. ダンスステップコンビネーションについて、正しくない説明は次のどれか？
- 要求される 8 秒間の最中に、プレアクロバット要素は実施できない
  - ダンスステップコンビネーション中に CC 要素は禁止されている
  - 団体演技には最低 2 個のダンスステップコンビネーションがあること
- 1 6 3. 身体と手具の効果について、正しくない説明は次のどれか？
- 音楽を伴う 3 つの身体と／または手具の効果がない構成は減点である
  - 単純な動きと複雑な動きの双方は、視覚的イメージで音楽の特定の瞬間を強調させるという明確な目的で実施された時、効果を生み出すことができる
  - 音楽の特に特定のアクセント／フレーズと組み合わせて効果を生み出す
- 1 6 4. 団体演技、つなぎについて、正しい説明は次のどれか？
- 非論理的なつなぎはそのつど 0.10 点、最大 2.00 点までの減点となる
  - 振付と関連性のないフロアでの位置の変更として実施されたフォーメーション間の移行は、無関係な動作のシリーズとなる
  - 動きと動きを接続させることは、構成の特徴を強化させることにならない
- 1 6 5. リズムについて、正しくない説明は次のどれか？
- 明らかに動きがアクセントの前または後で強調されている場合、減点される
  - 演技が音楽のアクセントとは別に実施された、またはテンポと合っていない場合は、そのつど 0.10 点最大 1.00 点までの減点となる
  - 団体と手具の動きは音楽的アクセントとフレーズに厳密に関係すること
- 1 6 6. 共同作業について、正しくない説明は次のどれか？
- 団体演技の代表的な特徴は各選手が協力精神を持ってチームとしての全体の動きに参加することである
  - 難度構成要素に存在する 4 つの組織的構造のそれぞれのうち 1 つより少ないものは減点される
  - 各構成は様々な種類での組織的な共同作業がなければならない
- 1 6 7. 共同作業「コーラル」について、正しい説明は次のどれか？
- 異なる大きさまたはスピードまたは方向を伴って一緒に振り付けのユニットを形成する異なる動きを同時に実施
  - 5 名の選手達が次々に同じ動きを実施し、等間隔で数回繰り返す
  - 5 名の選手達はそれぞれ、2 つの対照的なアクションのいずれかを実施すること

168. 次の A (芸術審判) の動きの特徴の正しい減点は次のどれか？
- 演技のいくつかの部分である場合、0.30 点減点
  - 演技の大部分である場合、0.50 点減点
  - 演技のいくつかの部分である場合、0.50 点減点
169. 団体演技中、音楽の特徴を表現する動きがダンスステップコンビネーションのみで実施されている場合の減点は何点か？
- 0.30 点
  - 0.50 点
  - 1.00 点
170. 次の A (芸術審判) の減点は何点か？
- ・身体部位の使用が不十分と、または団体の表現として 5 名全ての選手達にエネルギーの強さのバランスが欠ける
- 0.30 点
  - 0.50 点
  - 1.00 点
171. 次の A (芸術審判) の減点は何点か？
- ・団体演技中、身体と手具の効果が 1 つもなかった
- 0.30 点
  - 0.50 点
  - 1.00 点
172. 団体演技中、3 つの D 要素で同じフォーメーション位置にいた場合の減点は何点か？
- 0.30 点
  - 0.20 点
  - 0.50 点
173. 団体の演技に必要なダイナミックな変化の数 (A 芸術審判) で、正しい説明は次のどれか？
- 3 回
  - 2 回
  - 必要ない
174. 選手間の同時性の欠如はどの審判からの減点か？
- D (難度審判)
  - A (芸術審判)
  - E (実施審判)

175. 次のA（芸術審判）の減点は何点か？

・組織的な共同作業：カノンとコーラルが構成上不足

- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 0.50 点

176. 団体演技中、選手が動き始めの前、3秒のイントロダクションがあった場合の減点は何点か？

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

177. 次のA（芸術審判）の減点は何点か？

・4秒を超えて持ち上げた造形と／または許可されない造形

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 1.00 点

178. 次のA（芸術審判）の減点は何点か？

・1名または数名の選手が4秒を超えて手具なしの状態（構成上の欠点）

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 1.00 点

179. 正しい減点は次のどれか？

・演技中、3名の選手がボールを落下し、1名は移動なし、2名は3歩の移動の後に手具を取り戻した  
手具を取り戻す間、数秒間に渡り芸術的イメージの描写が停止した

- a. E（実施審判）で2.50の減点、A（芸術審判）で0.30の減点
- b. E（実施審判）で1.50の減点、A（芸術審判）で0.30の減点
- c. E（実施審判）で2.50の減点、A（芸術審判）で0.50の減点

180. 正しい減点は次のどれか？

・演技終末に2名の選手がフープを同時に落下し、移動せずすぐ取り戻したが  
演技終了時に音楽と動きのハーモニーが合わなかった

- a. E（実施審判）で1.00の減点、A（芸術審判）で1.00の減点
- b. E（実施審判）で1.00の減点、A（芸術審判）で0.50の減点
- c. E（実施審判）で0.50の減点、A（芸術審判）で0.50の減点

181. 次のE（実施審判）の減点は何点か？

・3名の選手のプレアクロバットの形が不完全な動きであった

- a. 減点なし
- b. 0.10 点
- c. 0.30 点

182. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

・2名の選手の全身波動の形が不十分な大きさだった

- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

183. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

・身体難度中に、身体部位の不正確な保持の減点となる、肩の上がりと膝の曲がりが同時にあった

- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

184. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

・2名の選手がバランスを失い、両手で支えた

- a. 0.50 点
- b. 0.70 点
- c. 1.00 点

185. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

・バランス難度中、2名は最低1秒間の保持がなく、1名は身体の軸が垂直でなく終了時に1歩余分なステップが入った

- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 0.90 点

186. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

・5名同時に胴の後屈を伴った開脚ジャンプ  を実施した

1名の選手が着地の最後の局面で後ろに傾いて不正確に着地、2名の選手が重い着地だった

- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

187. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

・5名同時に支持を伴わない側方開脚バランス  を実施した

1名は上の脚に  $10^\circ$  の誤差、1名は上の脚に  $15^\circ$  の誤差、1名は胴体に  $20^\circ$  の誤差があった

- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 0.70 点

188. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・ 5 名同時にアチチュードローテーション  を実施した  
2 名の選手がピボット中に不注意により踵をついた

- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

189. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・ 5 名同時にプレアクロバットを実施したが、3 名の選手の着地が重なった

- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

190. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・ 手支持での歩き (2 歩またはそれ以上の支持の変更)

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

191. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・ 交換を受ける際に

1 名は不注意による両手受け、1 名は不注意による身体との接触を伴った不正確な受けを行った

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

192. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・ 2 名の選手が同時に落下した。1 名は移動なし、1 名は 3 歩の移動の後に手具を取り戻した

- a. 減点なし
- b. 1.00 点のみ
- c. 0.50 点+1.00 点

193. 次の E (実施審判) の減点合計は何点か？

- ・ 2 名の選手が手具を喪失して移動せずに取り戻した
- ・ 1 名の選手が不正確な軌道により、3 歩移動して手具を空中で受けた
- ・ 1 名の選手がフープの投げを受ける際に上腕に接触した

- a. 1.30 点
- b. 1.80 点
- c. 2.10 点

194. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・2名の選手が衝突して2名とも転倒した

- a. 0.80 点
- b. 1.50 点
- c. 1.40 点

195. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・連係中に1個または数個の手具が4秒を超えて明らかに固定されている

- a. 0.30 点
- b. 0.10 点
- c. 0.50 点

196. 次の E (実施審判) の減点の合計は何点か？

- ・2名の選手が不正確な軌道により、1歩移動して手具を空中で受けた
- ・3名の選手がボールを両手で受けた
- ・1名の選手のリボンに大きな結び目ができる

- a. 1.20 点
- b. 0.70 点
- c. 0.90 点

197. 正しい説明は次のどれか？

- ・5名同時に開脚ジャンプを実施した。

2名の選手は  $20^\circ$  を超える大きな誤差、3名の選手は  $10^\circ$  以下の小さな誤差であった

- a. 身体難度有効+実施減点
- b. 身体難度無効+実施減点
- c. どちらでもない

198. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・2名の選手がフープのくぐり抜けの際、フープに脚が引っ掛かった

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

199. 次の E (実施審判) の減点は何点か？

- ・3名の選手がボールの転がしの際、不正確に転がしバウンドした

- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

200. 次のE（実施審判）の減点は何点か？

・4名の選手が、フロア外に手具を同時に喪失した

- a. 1.00 点
- b. 2.00 点
- c. 4.00 点